令和5年度（第80回）

恩賜賞・日本芸術院賞 受賞作品展

令和6年
6月12日（水）～ 6月18日（火）

■会　　場｜日本芸術院会館展示室
■観 覧 料｜無料／会期中無休
■時　　間｜10時～17時
■主　　催｜日本芸術院

本受賞作品展の展観作品（予定）

- 隈　研　吾 [建築・デザイン]
- 多和田葉子 [小説・詩]
- 福王茂十郎 [能　楽]
- 大　矢　紀 [絵　画]
- 町 田 博 文 [絵　画]
- 山 岸 大 成 [工　芸]
- 高 木 厚 人 [　書　]
- 桐 野 夏 生 [小　説]
- 杵屋勝四郎 [長　唄]

※受賞作品又は受賞者に関わりのある作品等を展観予定です。

日本芸術院では、会員以外の者で、卓越した芸術作品と認められるものを制作した者及び芸術の進歩に貢献する顕著な業績があると認められる者に対して、毎年、恩賜賞と日本芸術院賞を授与しています。日本芸術院賞は、昭和16年から戦中、戦後の一時期を除いて毎年授与しており、令和５年度において第80回を数えております。恩賜賞は日本芸術院賞を受賞した者の中から特に選ばれて贈られる賞です。本展では、第80回日本芸術院賞受賞作品等を公開いたします。珠玉の作品をどうぞお楽しみください。

令和5年度(第80回)

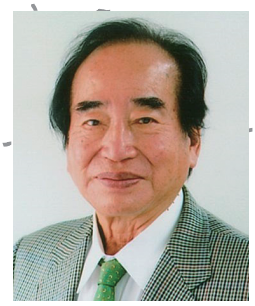
<恩賜賞・日本芸術院賞>

隈 研吾
(撮影 J.C.Carbonne)

多和田 葉子
(撮影 Elena Giannoulis)

福王 茂十郎

<日本芸術院賞>

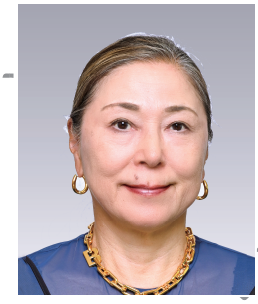


大矢 紀

町田 博文

山岸 大成

高木 厚人



桐野 夏生
(中央公論新社 提供)

杵屋 勝四郎

※恩賜賞・日本芸術院賞は、日本芸術院第一部(美術)・第二部(文芸)・第三部(音楽・演劇・舞踊)の順、日本芸術院賞の第一部は分科順、分科内の五十音順で記載しています。

日本芸術院は、文部省美術展覧会の美術審査委員会を母体として、大正8(1919)年に帝国美術院として創設されました。帝国美術院設立当初の美術分野に加え、昭和12(1937)年には文芸および芸能の分野が拡充され、帝国芸術院へと改組、さらに昭和22(1947)年に現在の日本芸術院へと名称が変更されました。現在、日本芸術院会員の定員は120名であり、第一部:美術、第二部:文芸、および第三部:音楽・演劇・舞踊のいずれかの分野に所属して運営しています。

日本芸術院会館

所在地 〒110-0007 東京都台東区上野公園1-30　電話 03-3821-7191

■交通案内
[JR]上野駅公園口 徒歩3分
[京成電鉄]京成上野駅正面口 徒歩5分
[東京メトロ]日比谷線・銀座線上野駅 徒歩5分
駐車場はございませんので、お車での来院はお控えください

http://www.geijutuin.go.jp

この印刷物は、古紙配合率70%再生紙を使用しています。